

下坂部小学校だより

令和2年7月1日 第5号 学校長 杉本 浩美

住所:尼崎市下坂部1丁目12-1

ホームページ: http://www.ama-net.ed.jp/school/E07/

学校再開から1ヶ月・・・

6月1日に分散登校により学校再開から1ヶ月がたちました。3月の臨時休業と合わせると、なんと3ヶ月にもわたる臨時休業でした。これほどの長い期間、学校に子どもたちがこられないことは、今までありませんでした。

6月15日からは感染対策を講じながら、全員そろっての授業がはじまりました。学校再開からこのかた、子どもたちも先生達も、本当によくがんばっています。学校で、顔を合わせて遊んだり学んだりできることって、本当にすごいことだな、と改めて感じました。3ヶ月間、家庭学習で子どもたちががんばってきたことが確実な力になるように、そして、この3ヶ月間に身につけた「自律」と「自立」の力をもっともっと伸ばしていけるよう、取り組んでいきたいと思います。

感染対策について

尼崎市でも、段階的に制限が緩和され、できる活動が少しずつ増えてきました。しかし、感染対策に十分気をつけることは変わりません。引き続き、朝の検温と健康観察にはご協力ください。また、学校では活動の前後の手洗いの徹底と、放課後、教職員による消毒も引き続き行っています。頻繁に手を洗いますので、清潔なハンカチの予備を持たせてください。

登下校時のマスクの着用について

体育など体を動かす場面以外、基本的に学校では常時マスクを着用することになっています。登下校時には熱中症対策として、他の児童と十分距離がとれればマスクをはずしてもよいことになっていますが、現実的には登下校の際、子どもたちが 1 メートル以上の距離を開けて歩くことは難しいため、原則的には「マスクをしましょう。」としています。しかし、熱中症対策も必要なため、「暑かったり息苦しかったりするときには、自分で考えて自分の体のために一時的にマスクはずしましょう。」とも指導しています。

「学びの保障」について〜新学習指導要領の実施とあわせて〜

今回のコロナ対応で、なかなか万全な体制とはいきませんが、今年度は新しい学習指導要領に基づいた 教育活動を本格的に進めていく年です。学習指導要領は、未来の社会を創りだす子どもたちに必要な力を 見通して、10年に一度改訂されています。今回の改訂では特に、子どもたちが単に知識・技能を身につ けるのではなく、その力をどう活用するかという思考力・判断力・表現力、そしてそれらの活動を通してど う社会や世界と関わっていくかといった人間性を育むことを中心に据えて取り組むことになっています。 本校でも様々な学習活動を通して取り組んでいきます。

【7月の行事予定】

1日(水)学校運営協議会

6日(月)クラブ①

7日 (火) 朝会

23日 (木) 海の日

24 日 (金) スポーツの日

27 日 (月)

~30 日 (木) 個人懇談週間

28日(火)給食終了

【8月の主な予定】

11 日 (火) ~17 日 (月)

節電のため学校閉鎖

18日(火)始業式、大掃除

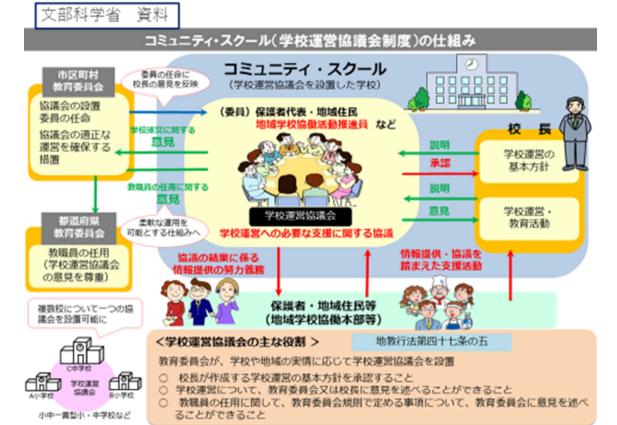
(12 時下校)

24日(月)給食開始

* 今年度は水泳記録会はありません。



★学校運営協議会設置とコミュニティ・スクールの導入について



4月の学校だよりでお知らせしましたが、いよいよ7月1日に学校運営協議会を開催し、下坂部小学校

は尼崎市で第1号の「コミュニティ・スクール」となります。コミュニティ・スクールでは、地域の方々で構成される学校運営協議会に学校としての方針や教育活動をお知らせしつつ、学校運営協議会からはそれらについての意見をいただくと同時に、学校の教育活動に必要な協力をしていただきます。下坂部小学校では昨年度立ち上がった「地域学校協働本部」とPTAや近松郷土学習に関わってくださっている方々を中心に学校運営協議会を立ち上げます。昨年度までと同様、「地域とともにある」学校、「地域から大切にされる」学校をめざし、地域の方々と手を携えて、未来に向けた夢と希望とふるさとに誇りと愛着を持つ子どもたちの育成に取り組んでいきます。